資料２

避難所における感染症対策について

使うもの	体温計、アルコール消毒液、石鹸、マスク、ゴム手袋（使い捨て）、使い捨てタオル、パーテーション、大型ビニール袋、ティッシュペーパー
避難者受け入れまでの準備	□受付の設置（体温計・受付表の準備） □体調不良者とそれ以外の者の避難者が使用する部屋・トイレを可能な限りそれぞれ準備。 □体調不良者の移動ルートを確保し、分かりやすく明確にしておく。 □避難所運営スタッフは、感染防止のため、体調不良者との物品の受渡しについては、原則、受渡しテーブルを構えるなどの直接接触をさけるようにする。

受付

受付にて避難者に検温をお願いする。別紙「受付票」に記載する。

発熱なし

体調不良者と接触しないよう注意し、部屋に誘導する。

発熱あり ※

体調不良者以外の避難者と接触しないよう注意し、別の部屋へ誘導する。※災害対策本部に報告

運営

長期的な避難の際は、１日２回検温を依頼する。検温結果については、避難者ごとに記録をつける。

パーテーションで仕切る等の工夫をし、対象者の状態については、<u>体調が急変していないか注意する。</u>

発熱なし

机やイス、ドアノブ等を定期的に清掃し、衛生管理を整える。また、避難者の健康にも留意する。

発熱あり ※

右欄の発熱ありの対応に移行。

適時見回りを行い、体調が急変若しくは緊急性が高い場合は災害対策本部に連絡する。※場合によっては、保健所や医療機関等へ連絡。

※　３７．５℃以上の発熱以外にも強いだるさ、息苦しさ、味覚・嗅覚異常等の症状も含む。

感染防止のための基本注意事項
- できるだけ４㎡/人の収容人数で対応
- １時間に１回、１０分から１５分の換気
- １室で対応できなくなった場合は、新たな部屋、又は別の避難所への移動を検討

田　野　町